

Ⅲ. 「経済・社会の見通し」についておたずねします。

問 15 将来（今後 10～20 年程度）の経済環境について、あなたの予想をおたずねします。あなたの考えに最も近いものを1つずつ選び、番号に○をつけてください。

今後の経済環境の見通し	1	2	3	4	前回結果(%)			
	そう思う	どちらかという そう思う	どちらかという そう思わない	そう思わない	1 そう思う	2 どちらかという そう思う	3 どちらかという そう思わない	4 そう思わない
a. 日本経済は長期的に再び活力を取り戻す	1	2	3	4	8.6	42.9	40.3	8.1
b. 労働力人口が減少するため、失業率が低下する	1	2	3	4	7.6	38.1	42.3	12.0
c. 人口減少により、一人当たり所得は豊かになる	1	2	3	4	2.6	22.3	55.9	19.1
d. 所得格差が拡大する	1	2	3	4	61.6	35.2	3.1	—

※前回結果は、不詳を除いた回答割合。サンプル数は、a=382、b=383、c=382、d=383。

問 16 将来（今後 10～20 年程度）の労働環境等について、あなたの予想をおたずねします。あなたの考えに最も近いものを1つずつ選び、番号に○をつけてください。

今後の労働環境等の見通し	1	2	3	4	前回結果(%)			
	そう思う	どちらかという そう思う	どちらかという そう思わない	そう思わない	1 そう思う	2 どちらかという そう思う	3 どちらかという そう思わない	4 そう思わない
a. 女性の労働力率は、今後さらに高まる（2004年実績値：48.3%）*	1	2	3	4	54.9	42.2	2.3	0.5
b. 女性の就業と育児・介護が両立できる環境は、今後さらに改善される	1	2	3	4	17.1	59.0	19.0	4.9
c. 男女の賃金格差は、今後さらに縮小する（2004年 男性3：女性2）**	1	2	3	4	20.6	52.7	22.5	4.2
d. 今後、フリーターやニートはさらに増える	1	2	3	4	33.9	46.5	18.3	1.3

\* 総務省統計局『労働力調査』平成 16 年。 \*\* 厚生労働省『賃金構造基本統計調査』平成 16 年。

※前回結果は不詳を除いた回答割合。サンプル数は、a=384、b=385、c=383、d=383。

問 17 将来（今後 10～20 年程度）の社会環境等について、あなたの予想をおたずねします。あなたの考えに最も近いものを1つずつ選び、番号に○をつけてください。

今後の社会環境等の見通し	1	2	3	4	前回結果(%)			
	そう思う	どちらかという そう思う	どちらかという そう思わない	そう思わない	1	2	3	4
a. 長期的にみて、今後、男女共同参画化の動きがあらゆる分野で進む	1	2	3	4	28.1	57.0	14.4	0.5
b. 犯罪などが増加し、社会不安が高まる	1	2	3	4	29.7	56.8	12.9	0.5
c. 労働力減少に対応するため、今後、移民(単純労働を含む)が増加する	1	2	3	4	22.4	55.0	19.8	2.8
d. 抜本的な年金制度改革が、実際に行われる	1	2	3	4	29.6	43.3	21.4	5.7

※前回結果は不詳を除いた回答割合。サンプル数は、a = 388、b = 387、c = 389、d = 388。

問 18 将来（今後 10～20 年程度）の価値観の推移について、あなたの予想をおたずねします。あなたの考えに最も近いものを1つずつ選び、番号に○をつけてください。

今後の価値観の推移	1	2	3	4	前回結果(%)			
	そう思う	どちらかという そう思う	どちらかという そう思わない	そう思わない	1	2	3	4
a. 「夫は外で働き、妻は家庭を守るべき」という考えは、今後弱まる	1	2	3	4	44.2	46.0	8.2	1.5
b. 「子どもが小さいうちは、母親は育児に専念すべき」という考えは、今後弱まる	1	2	3	4	23.5	50.6	23.3	2.6
c. 「男女が暮らすなら結婚すべき」という考えは、今後弱まる	1	2	3	4	28.9	47.8	22.2	1.0
d. 「子どもは法的に結婚した夫婦の間で生れるべき」という考えは、今後弱まる	1	2	3	4	21.7	42.9	30.7	4.7

※前回結果は不詳を除いた回答割合。サンプル数は、a = 389、b = 387、c = 387、d = 387。

IV. 「少子化対策」についておたずねします。※前回結果は次ページにあります。

問 19 下の選択肢ボックスに、現在取り組まれている、あるいは考えられている主な少子化対策が分野別に列挙されています。あなたが、少子化対策として推奨する政策を、分野ごとに選択肢ボックスの中から最大3つまで選び、回答欄に番号を記入してください。

【回答欄】（推奨する順にご記入ください）

政策分野	推奨する政策（最大3つまで）		
a. 児童福祉			
b. 働き方			
c. 教育			
d. 税・社会保障			

【選択肢ボックス】

a. 児童福祉

1. 保育所の増設	4. 児童手当の支給期間延長	7. 学童保育の拡大
2. 幼保一元化の推進	5. 児童手当の増額	8. 民間保育サービスの振興助成
3. 一時預かり保育の推進	6. 病後児保育の推進	9. その他（ ）

b. 働き方

1. 企業の行動計画策定・実践を義務化	6. 短時間正社員制の導入推進
2. 育児休業制度の拡充	7. フリーター・ニートの正規就業支援
3. 在宅勤務制度の普及推進	8. 女性の再就職支援策の充実
4. パートタイム労働者の均衡処遇推進	9. 男性の育児休業取得の促進
5. フレックスタイム制の導入推進	10. その他（ ）

c. 教育

1. 大学教育に対する本人学費負担意識の醸成	5. 男女共同参画教育の推進
2. 希望者全員が受けられる貸与奨学金制度	6. 性行動・妊娠・出産の理解教育推進
3. 家庭役割や子育ての意義の理解教育導入	7. 人口学の知識の普及促進（人口教育）
4. 乳幼児と青年層がふれあう機会の拡大	8. その他（ ）

d. 税・社会保障

1. 103万円の壁(所得税)の解消	4. N分N乗方式の税制導入	7. 独身税の創設
2. 130万円の壁(社会保険料)の解消	5. ファミリーフレンドリー企業の税制優遇	8. 公営住宅の充実
3. 育児保険の創設	6. 乳幼児医療費の無料化	9. その他（ ）

前回結果（N=389、選択率、単位：％）

a. 児童福祉

1. 保育所の増設	52.2	6. 病後児保育の推進	26.5
2. 幼保一元化の推進	23.1	7. 学童保育の拡大	45.2
3. 一時預かり保育の推進	32.9	8. 民間保育サービスの振興助成	27.0
4. 児童手当の支給期間延長	29.0	9. その他	5.1
5. 児童手当の増額	37.5		

b. 働き方

1. 企業の行動計画策定・実践を義務化	20.8	6. 短時間正社員制の導入推進	38.8
2. 育児休業制度の拡充	44.0	7. フリーター・ニートの正規就業支援	17.2
3. 在宅勤務制度の普及促進	23.9	8. 女性の再就職支援策の充実	49.6
4. パートタイム労働者の均衡処遇推進	28.0	9. 男性の育児休業取得の促進	31.4
5. フレックスタイム制の導入推進	29.3	10. その他	2.6

c. 教育

1. 大学教育に対する本人学費負担意識の醸成	23.7	6. 性行動・妊娠・出産の理解教育推進	31.9
2. 希望者全員が受けられる貸与奨学金制度	47.8	7. 人口学の知識の普及促進（人口教育）	19.3
3. 家庭役割や子育ての意義の理解教育導入	38.3	8. その他	7.7
4. 乳幼児と青年層がふれあう機会の拡大	33.2		
5. 男女共同参画教育の推進	45.5		

d. 税・社会保障

1. 103万円の壁（所得税）の解消	43.2	6. 乳幼児医療費の無料化	46.0
2. 130万円の壁（社会保険料）の解消	41.9	7. 独身税の創設	19.8
3. 育児保険の創設	33.4	8. 公営住宅の充実	20.3
4. N分N乗方式の税制導入	10.8	9. その他	3.6
5. ファミリー・フレンドリー企業の税制優遇	33.9		

問20 問19で挙げられた政策メニュー以外で、あなたが有効だと思われる少子化対策があれば、自由にご記入ください。

問21 あなたは、少子化対策として、どの分野の政策にもっとも力を入れるべきだと思いますか。あてはまるものに1つだけ○をつけてください。

<table style="width: 100%; border: none;"> <tr> <td style="width: 50%;">1. 児童福祉</td> <td style="width: 50%;">5. 税制</td> </tr> <tr> <td>2. 労働・雇用</td> <td>6. その他 ( )</td> </tr> <tr> <td>3. 教育</td> <td></td> </tr> <tr> <td>4. 社会保障</td> <td></td> </tr> </table>	1. 児童福祉	5. 税制	2. 労働・雇用	6. その他 ( )	3. 教育		4. 社会保障		<p>前回結果(N=389)</p> <p>1. 13.1%</p> <p>2. 44.7%</p> <p>3. 13.4%</p> <p>4. 12.3%</p> <p>5. 7.2%</p> <p>6. 6.7%</p> <p>不詳 2.6%</p>
1. 児童福祉	5. 税制								
2. 労働・雇用	6. その他 ( )								
3. 教育									
4. 社会保障									

問22 日本の社会保障給付費に占める児童・家族関係給付費（児童手当、児童福祉サービス、育児休業給付および出産関係費）は、3.8%（約3.2兆円、2003年）\*ですが、ヨーロッパ先進諸国の多くは約10%を占めています。あなたは、今後、児童・家族関係給付費をどの程度まで引き上げるべきだと思いますか。具体的な数字を回答欄にご記入ください。

<p style="text-align: center;">社会保障給付費に占める 家族関係給付費の割合</p> <div style="border: 1px solid black; height: 40px; margin-top: 10px; display: flex; align-items: center; justify-content: center;"> <span style="font-size: 24px;">%</span> </div>	<p style="text-align: center;">前回結果 (N=365)</p> <p style="text-align: center;">平均値 9.1%</p>
--	---

\* 国立社会保障・人口問題研究所『平成15年度 社会保障給付費』（平成17年9月）による。

## V. 最後に、あなたご自身についておたずねします。

問 23 あなたの年齢と性別についておたずねします。

年齢	性別
歳	1. 男    2. 女

問 24 あなたの「専門分野」および「関心領域」として、あてはまるものを下のボックスから最大3つまで選び、関連の強い順に回答欄に番号を記入してください。

a. 専門分野		
第1	第2	第3

b. 関心領域		
第1	第2	第3

a. あなたの専門分野

1. 人口学
2. 経済学
3. 経営学
4. 社会学・文化人類学
5. 教育学
6. 心理学
7. 歴史学
8. 哲学・思想史・倫理学
9. 法学
10. 政治学・行政学
11. 医学・公衆衛生学
12. 数学・統計学
13. 人類学
14. 農学
15. 地理学
16. 家政学
17. 女性学
18. 老年学
19. マスコミ・ジャーナリズム
20. その他（具体的にお書きください。）
(                                    )

b. あなたの関心領域

1. 人口
2. 出生
3. 結婚・離婚
4. 疾病・死亡
5. 家族
6. 高齢化
7. 人口移動・移民・エスニシティ
8. 労働・失業
9. 社会保障・福祉
10. 社会政策・家族政策
11. 経済政策
12. マクロ経済・財政
13. 地域社会
14. 保健・衛生・医療
15. セクシュアリティ
16. ジェンダー
17. 環境・資源・エネルギー
18. 社会調査
19. 推計・シミュレーション
20. その他（具体的にお書きください。）
(                                    )

問 25 あなたの**ご職業**についておたずねします。あてはまる番号に**1つだけ**○をつけてください。

1. 大学教員	2. 大学以外の研究機関の研究者	3. 地方自治体職員
4. 医師、医療従事者	5. 国家公務員(研究職を除く)	6. 大学院生
7. その他 ( )		

問 26 あなたの**お住まいの地域**をおたずねします。

都道 府県
----------

問 27 本アンケートの第1回調査時には、ご回答を返送されましたか。

1. はい	2. いいえ
-------	--------



※本アンケートの個票データをご希望の方は、下記の欄に氏名と、データ送付先メールアドレスをご記入ください。(個票データの配信は、本研究プロジェクト期間終了後となります。)

氏名：	メールアドレス：
-----	----------

少子化や少子高齢化社会、あるいはこの調査に関してご意見、コメント等がございましたら、下の欄に自由にご記入ください。今後の調査研究の参考にさせていただきます。

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

**ご協力ありがとうございました。**

ご回答いただいた調査票は、同封の返信用封筒に入れて **4月30日(日)**までにご投函ください。